

# Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 Equipped For a Purpose 「常に備えあれ、目的に向かって」  
 アジア会長標語 The New Millennium, The New Y's Men 「ニューミレニアム、ニューワイズメン」  
 西日本区理事標語 「イノベーション(革新) - 理想のワイズを求めて」  
 中部部長標語 「ワイズは自然体で新世紀へ」  
 クラブ会長標語 「ワイズを楽しもう！」

## 2000年 7月号

< 今月の聖句 >

「神は愛するものたち、つまりご計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、私たちが知っています。」

ローマの信徒への手紙 8章28節

**第一例会は遅刻のないよう遅れる場合は担当宛連絡をお願いします**

### 2000年7月例会ご案内

#### 第一例会(一泊例会)

7月の特別プログラム

と き : 7月8日(土)・9日(日)  
 と ころ : 木曾温泉  
 時 間 : 18:00~  
 内 容 : 詳細は別紙参照

#### バーベキューとヨット

と き : 7月20日(木)祭日  
 と ころ : 津  
 ドライバー : 坂口君

参加者は別紙資料を忘れずに持参して下さい。

#### その他

ドライバー : 新会長 阿部君

8月の特別プログラム

#### 第二例会

#### 日和田火祭り(第二例会)

と き : 6月25日(火)  
 と ころ : 名古屋YMCA  
 議 題 : 一泊例会の結果を受けて決定します。

と き : 8月5日(土)  
 と ころ : 日和田  
 詳細は別途

6月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(6月)	
	在 席 者	24名	第 1 例 会	名	当 月・切 手	-	ニコBOX ノート	
	例会出席者	名	第 2 例 会	名	当 月・現 金	-	感 謝 ファンド	
当月出席率	%	部 会 他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”  
 = 強い義務感を持つ。義務はすべての権利を伴う =

### ご縁があって

今回の講師は、吉田正さんの紹介で、「S O 日本・愛知設立準備委員会」の長屋祥子さんをお招きしての卓話でした。小柄な印象を受ける長屋さんですがパワー溢れる呼びかけには感動と共感に心を動かされたことと思います。

「S O : スペシャル・オリンピックス」については、6月号のプリテンでご紹介しておりますので省略させていただきますが、卓話では長屋さん「オリンピックス」との出会い。そして、活動の様子をビデオでお話くださいました。初めて知的発達障害者(アスリート)と関わって感じた戸惑い。その心のバリアとの葛藤でも、それを取り除いてくれた、ボランティアの仲間。そして、何より活動を通じて少しずつ知的発達障害者とのコミュニケーションが出来た喜びから、バリアをなくし共に生きる世界を知ることが出来た感動など。その様子がビデオの活動風景の中からも伺えました。ビデオの制作も全て手作り。そして、映像に映し出されたボランティアとアスリートの笑顔が素晴らしく、それが活動の源となり、設立準備への目標につながっている様子が実感されました。

長屋さんのお話の中によくでて来た言葉に、「ご縁があって」という言葉がありました。一つのご縁から色んな人との出会いがあり、そこに人の輪が広まり、今まで気付かなかったことに感動を覚え、自分に出来ることを見つけ出すことが出来るということはとても素晴らしい事だと思いました。

一人でも多くのボランティアが必要と呼びかける長屋さんの声に答えられるように、今自分が出来る事、そして、ワイズとして出来る事がきっとあるはず。これを機会に自分に問いかけて、みんな話し合う事にも大きな意義が有るようにも思います。

ボランティアは特別な技術が必要とされるのではなく、いろんな人を必要としています。時間の許す方、積極的に協力しましょう。

最後に今回の報告は「オリンピックス」の事をもっと知っていただくように書かなければいけないのですが、なぜか「ご縁」という言葉が印象的で、私たちがワイズに入った時の初心の心をもう一度教えられたような気がしました。

里 昌信



### 標語 「ワイズを楽しもう！」

2000-2001 会長 阿部一雄

私は20世紀最後の年2000年から、21世紀最初の年である2001年に会長を務めさせて頂くことになり大変光栄です。

グランパスワイズは10周年を来年に控えもう一度原点に振り返り、共同の目的を持って皆で汗を流す活動をしていくことが大切だと思います。

チャーターして頂いた9年前、とにかく活動らしい活動をしていこうという意気込みで、皆一生懸命グランパスの活動をしていたと思います。

ワイズを楽しもう!というテーマは勉強の場であるワイズ活動をまじめに取り組む反面、親睦のプログラムの時は皆で楽しむ、メリハリの有る活動をしていきたいということです。

又、これまではグランパスらしい通年プログラムがグランパスには無く、比較的若いメンバーも多いことから、まとまりという意味では少々他のクラブとは違っているように思っていました。それらのことを考慮に入れ、原点に戻るといった活動はどの様にしていくかを考えて参りました。

それから、経済的にもグランパスは弱く、どの様に活動を進めていけば良いかも考えました。それを実現するためには、まず第1例会は勉強の場と考え、食事をとり基本的には外部からの講師を迎え、社会勉強をしていきたいと考えます。第2例会はグランパスらしい活動の方向性はどの様にしていくかを考える場とする事とします。

具体的には10周年事業実行委員会を組織し、10周年記念事業の企画、グランパスの方向性を決め、ファン作りをどうしていくかを議論していく場とします。10周年はこれらの事のスタート点ととらえ、一年かけて方向性を決める準備の場です。

私的な意見として、根ノ上キャンプ場の再生やスペシャルオリンピックス支援、骨髄バンク活動支援等々色々なことが考えられます。

そしてサブテーマとし、リサイクル、環境、自然をとりあげ、第1例会はこれに付随したテーマで卓話の講師を決めて頂きたいと考えています。第2例会にもこれに付随するテーマに基づき活動テーマを決めていきたいと考えてます。

尚、諸連絡や報告をスムーズにする事で活動を活発にしていきたいとも考えています。ボランティア活動の一環ということではありますが(強制力は無い)人に迷惑を掛けるということは社会人としてあるまじきことです。せめて出欠席の連絡くらいはきちんとできる様にしていきたいです。

サンドルクラブとの活動も前記と同様、目的を持ってIBC活動をしていく予定です。具体的にはIBCの方向性を9月までに議論し、サンドルクラブと密に連絡をとりながら、10月に訪韓し、活動内容を確認してはと、考えています。

最後に、メンバー中一番若いものが会長を行わせて頂くにあたり、何事にも謙虚に受け止め、微力ながら皆の力になればと考えていますのでよろしくお願い致します。

2000 - 2001年度  
グランパス役員

会 長 : 阿部一雄  
副会長 : 坂野清治  
書 記 : 荒川恭次  
会 計 : 佐藤寿晃  
会計監査 : 坂倉 洋  
EMC : 三井秀和、木野村映  
Yサービス : 坂倉 洋、早川政人、丹羽真清  
IBC : 池野輝昭、三井秀和、南里道子  
CS・BF : 井川幸吉、加藤元昭  
TOF  
プログラム : 藤田留美、南里道子、坂口功祐  
高田土嗣  
ファンド : 吉田 正、松原 誠  
ブリテン : 荒川恭次、服部庄三、里 昌信  
直前会長 : 馬場寅太郎  
連絡主事 : 亀谷龍生

## サンドルクラブ

### 仁川訪問記

南山クラブ 小林滋記

南山クラブのIBC新仁川クラブの新会長就任式に出席の為6月22日韓国仁川市を訪れました。開会前にホテルのティールームでコーヒーを飲んでいると隣のテーブルにワイズの人達が...。ご挨拶に行くとサンドルクラブのメンバーの皆さん。済州島のアジア大会で会った人もいたりして、グランパスの池野さん、服部さん、三井さん等、私もよく知っている名前が出て話がはずみました。阿部さんの名前も出て、「彼は今年会長で、来る9月23日の南山クラブ30周年には、グランパスメンバーを15人連れて参加して下さる予定です。」とっておきました。

さて、式の方はサンドルをはじめ韓国の他のワイズ、台北と名古屋のIBCクラブ、そしてライオンズクラブのガバナーと、ゲストも多数参加してホテルのホールで行われました。自分のクラブのことを思って軽い気持ちで出席したら大違い。ひな壇の真ん中に立会人として韓国中部部長のサンドルクラブ池一洙メンが座り、左右に新旧会長と並び、牧師さんの礼拝から始まる本格的な式典でした。最後にサンドルクラブからグランパスクラブの皆様によるしくとのことでした。

## 西日本区大会 スナップ

参加者 阿部一雄  
池野郁子  
池野輝昭  
服部庄三  
馬場寅太郎  
早川政人  
南里道子